

子どもがすくすく育つまち 子育てするなら前橋で



前橋市は、子育て世代の皆さんが安心して暮らせるように、さまざまな取り組みを行っています。ここでは、医療・福祉分野での取り組みを紹介します。



前橋保健センターでの健診の様子（1歳6カ月児健診）

子どもの発熱やけが 急な体調不良にも慌てずに

休日の夜中に子どもが急に熱を出した。料理中に子どもがやけどをしてしまった。そんなとき、とても助かるのが夜間急病診療所。前橋市では内科の他、小児科の医師が常駐し、変わりやすい子どもの体調に対応しています。また、医療機関を受診した際の医療費は中学校卒業まで無料。けがや病気の多いこの年頃の子育て世帯の負担を軽減します。

さらに、発達特性の早期把握により、よりきめ細やかな支援を目指す5歳児就学前健康診査の本格実施など、関係機関と連携協力し子育てと医療に関わる支援の充実を図ります。

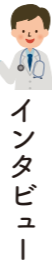
■夜間急病診療所を休日の昼間も診療
季節性インフルエンザや感染性胃腸炎の流行するこの時期は、日曜・祝日の午前中も夜間急病診療所を開設しています。



クリニックでの診療の様子

**安心して子育てを
医療・福祉の充実でサポート**

夜間急病診療所や休日当番医の運営には医師の協力が欠かせません。体調の変わりやすい子どもなら、その重要性はなおさらのこと。そこで、これらの取り組みに協力をいただいている市医師会の小児救急医療担当理事・霜田雅史さんに本市の小児救急医療体制について話を伺いました。



インタビュー

―本市の小児救急医療体制の状況は
一次救急医療として休日当番医には小児科の専門医療機関を配置し、夜間急病診療所でも小児科を普段から診療している医師が対応。365日欠かさず受診を受け付けています。年末年始には小児科専門医療機関2施設と夜間急病診療所で診療しています。

また、一次救急医療で検査や入院治療が必要な場合には、小児科医が院内に待機する輪番制当番病院に転送し、検査・治療がスムーズに連携できるよう、切れ目ない対応に配慮しています。さらに平成25年度より、夜間急病診療所を12月から5月までの休日昼間も開設し、支援の充実を図っています。

霜田 雅史さん 52歳
市医師会小児救急医療担当理事

期日＝5月31日(日)まで

診療時間＝午前9時～正午

診療科目＝内科・小児科

用意する物＝健康保険証（中学生以下は福祉医療受給資格者証）、現金

●通常の夜間急病診療所

診療時間＝午後8時～午前0時

診療科目＝内科・小児科

■夜間急病診療所 ☎027-124

3-5111

■休日当番医

日曜や祝日も小児科を含む内科や外科、婦人科、耳鼻科、眼科の診療を受け付けています（関連記事本紙18ページ）。

■保健総務課 ☎027-220-5781



■医療費助成

中学校卒業まで（15歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の子どもの医療費が無料になります（一人親家庭などの場合は18歳まで）。助成を受けるには申請が必要です。詳しくは問い合わせてください。

■国民健康保険課 ☎027-189

8-6253

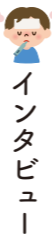
■5歳児就学前健康診査

3歳児健診までに把握されにくい発達特性を知ることで、スムーズな就学に向けての個々の子どもに応じた専門的支援につなげるため、平成25年度からモデル事業を実施。市医師会や幼稚園・保育所などと連携し、2年間で延べ34カ所の園所で年中児を対象に健診を行い、来年度以降の本格実施に向けて準備を進めています。

■子ども課 ☎027-220-5703



同年代の子を持つママ同士も友達に



インタビュー

夜間でも診療してもらえて
とても安心しました



小柳さん親子(六供町)

以前、一般の病院が閉まってから子どもの具合が悪くなり、夜間急病診療所を利用しました。子どもって夜になってから具合が悪くなることが多いので、このような施設があると大変助かりますね。

寒い時季でも楽しく遊べる 前橋プラザ元気21の子育て関連施設

問い合わせは プレイルーム ☎027-210-2258
こども図書館 ☎027-230-8833

前橋プラザ元気21のプレイルームやこども図書館などでは、子育て世代が楽しめるイベントが盛りだくさん。寒い時季でも思い切り遊べます。



プレイルーム



こども図書館